

2. 比較基礎資料

比較の基礎資料として第19回技能五輪国際大会(以下国際大会という)、第8回技能五輪全国大会(以下全国大会という)および昭和42年度ならびに43年度全国総訓技能競技(以下総訓大会という)の結果得られた、つぎに掲げる各資料を用いた。

2. 1 国際大会

1. 参加者 つぎの13カ国の代表選手各1名。

西ドイツ(Germ)、ベルギー(Bel)、韓国(Ko)、スペイン(Sp)、オランダ(Neth)、アイルランド(Ire)、イタリー(It)、日本(Jap)、マルタ(Malta)、ポルトガル(Port)、連合王国(U.K)、スイス(Swit)、中華民国(Chin)。

2. 競技課題 付図1に示すとおり。なお付図に制限時間は24時間であることが示されている。

3. 成績表 付表1に示すとおり。付表にエキスパートが測定した検査寸法、評価点数および評価基準が示されている。

2. 2 全国大会

1. 参加者 地方予選を通過した選手37名。

2. 競技課題 付図2に示すとおり。なお付図に制限時間は10時間30分であることが示されている。

3. 成績および製品 成績個表の一例を付表2に示す。なお付表に評価基準が示されている。

2. 3 総訓大会

1. 参加者 各総訓(中卒2年訓練)の代表選手、昭和42年度60名、昭和43年度66名、合計126名。

2. 競技課題 昭和42年度の課題は既報のとおり、⁽³⁾その制限時間は2時間。昭和43年度は42年度に準ずるものであった。